

## コシャクシギ

*Numenius minutus* Gould

チドリ目  
CHARADRIIFORMES  
シギ科  
Scolopacidae

## カテゴリー

大分県 情報不足  
環境庁 IA

選定理由

県内分布

分布域

生息環境

現 状

備 考

海岸近くの農耕地，河川敷などにごく希に飛来する旅鳥。

全国の海岸近くの農耕地，草地に飛来する旅鳥。  
シベリア北部で繁殖。ニューギニア，オーストラリアで越冬。

海岸近くの農耕地，草地などにごく希に渡来し，ハチ，アブなどの昆虫類を食べる。

日本への飛来数が少ない。県内では，中津，杵築，大分，佐伯で観察記録がある。

国際希少野生動植物種。

## オオジシギ

*Gallinago hardwickii*  
(Gray)

チドリ目  
CHARADRIIFORMES  
シギ科  
Scolopacidae

## カテゴリー

大分県 準  
環境庁 準

選定理由

県内分布

分布域

生息環境

現 状

備 考

日本だけで繁殖する固有種であるが，総個体数は少ない。越冬地のオーストラリアでは個体数が減少していると言われている。飯田高原は，阿蘇北外輪山について繁殖地のほぼ南限に位置し，数羽が繁殖している。

飯田高原に生息する夏鳥。

北海道，本州中北部，本州西部(広島)，四国(愛媛)，九州(熊本・大分)で夏鳥。その他の地域では旅鳥。  
オーストラリア南東部で越冬し，日本とサハラ以南南部で繁殖。

湿生草地や牧草地に夏鳥として飛来し，地上に営巣する。ミミズや昆虫などをとる。移動の時期には，水田や湿地にも飛来する。

県内の生息数は10個体以下である。

1996年版の国際自然保護連合レッドリストでは準絶滅危惧種であったが，2000年版には掲載されていない。

## セイタカシギ

*Himantopus himantopus himantopus*  
(Linnaeus)

チドリ目  
CHARADRIIFORMES  
セイタカシギ科  
Recurvirostridae

## カテゴリー

大分県 IB  
環境庁 IB  
水産庁 希少種

選定理由

県内分布

分布域

生息環境

現 状

本種の総個体数は約10,000羽であり，日本への飛来数は極めて少ない。

海岸部の湿地帯に希に飛来する旅鳥。

本州(千葉，愛知)で繁殖。その他の地域では希な旅鳥。  
中国内陸部で繁殖，中国南部，東南アジア，オーストラリアで越冬

海岸沿いの開けた見晴らしのよい地上に営巣する。浅い水域で昆虫，貝類，小魚などの小動物や水草を食べる。

県内では年に1～2回観察される程度である。